新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	脳組織での分子発現の空間的・定量的解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象者は、倫理審査の承認日以降現在までに、新潟大学脳研究所病理学分野で病理診断された患者さんです。
③概要	本研究では、ご同意いただいて採取した脳組織を使用して、脳内の様々なタンパク質がどこに、どれくらい存在しているのかを詳しく調べます。これにより、脳の正常な働きや病気が起こる仕組みを深く理解することを目指しています。本研究では、ご同意いただいて採取・保管した脳組織と解析関連情報を使用します。提供していただく情報については、氏名を消す代わりに研究用の番号をつけて管理し、その情報だけでは誰のものかわからない状態で利用します（いわゆる匿名化）。もし本研究での利用を望まれない場合は、下記の連絡先までご一報ください。その際、ご提供いただいた脳組織や情報は本研究に使用せず、今後の研究にも用いることはありません。また、利用をお断りいただいても不利益は一切ありません。
④申請番号	2024-0294
⑤研究の目的・意義	本研究では、採取した脳組織を、従来よりも迅速かつ丁寧に固定する新しい方法で固定します。この方法を使うことで、従来の固定方法では捉えにくかった脳内の様々なタンパク質をより正確に観察し、脳の正常な働きや病気が起こる仕組みを深く理解することを目指しています。研究の成果は、神経科学や神経病理学の発展に大きく貢献すると期待されます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	使用する情報は、病理解剖でもたらされるあらゆる医療情報です。データは、氏名を消す代わりに研究用の番号をつけて管理し、その情報だけでは誰のものかわからない状態で研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。使用する検体は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」では原則として文書又は口頭によるインフォームド・コンセントとその記録が必要とされており、本研究で用いる脳研究所に保管されている凍結脳については、遺伝子解析研究に使用することについて文書でインフォームド・コンセントを受けているものを使用します。研究実施に関しては、試料の利用目的を含む情報を脳研究所病理学分野ホームページに公開した上で実施します。ただし、病理解剖を受けたご遺体のご遺族の方が、使用を拒否できる機会を病理学教室の HP に示したうえで実施します。新潟

	<p>大学医学部医学科ホームページリンク先アドレスは、以下の通りです。 https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/activity/clinical_research/nouken_byouri/index.html</p> <p>また、研究の進展に伴い新たな解析が必要となった場合には、新潟大学以外の研究機関とも試料・情報交換を行う可能性があります。本研究で得られた試料や情報は、論文や学会発表など学術目的での利用に加え、成果発表等での一般向けのプレスリリースや成果発表等で2次利用される可能性があります。いずれの場合でも、個人を特定できるような情報の提供を行うことはありません。以上のような試料・情報の利用に同意できない場合、上記のリンク先アドレスから研究参加を拒否することができます。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	<p>試料としては、病理解剖時に採取した脳組織を使用します。情報としては、年齢・性別・疾患名・病理学的所見、解剖時所見からもたらされる情報、組織検査からもたらされる情報を使用します。</p>
⑨利用する者の範囲	<p>新潟大学 脳研究所 病理学分野 新潟大学 脳研究所 細胞病態学分野</p>
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	<p>新潟大学 脳研究所 病理学分野 教授 柿田明美</p>
⑪お問い合わせ先	<p>剖検例について：本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学 脳研究所 病理学分野 氏名：柿田明美 Tel：025-227-0636 E-mail：kakita@bri.niigata-u.ac.jp</p>